

こんにちは

災害時学校給食用非常食が開発されました。

救給カレーは150g/250g入りで
ごはん、スプーンも入っていて常温でもおいしく食べられます。
救給根菜汁は
アレルギー特定原材料等27品目不使用で賞味期限は3年。



＜ 問合せ先 ＞
株式会社 SN 食品研究所
〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町 8-38
TEL 022-288-7756
FAX 022-288-8050

防災紙芝居を貸し出します

平成26年に作成した紙芝居を多くの人にお
使いたいと貸し出し用を準備いたしま
した。ぜひご利用ください。

沖野市民センター窓口までお申し出ください。

ストーリー

ある夏の日、突然の大地震に見舞われた家族の
とった行動とは…大きな揺れにおびえ、慌てる
家族の前に沖野の守り神、“おきじい”が現れ
て“備え”の大切さを教えてくれます。



◇知ってる？守ってる？ルールとマナー

自転車が「加害者」になるケースが
民事上も大きな責任を負うことになります。

- | | |
|---------|-------|
| ・飛び出し | ・無灯火 |
| ・二人乗り | ・一輪車 |
| ・携帯、スマホ | ・イヤホン |

エチケット
ABC
子どもの自転車



編集後記

知っておきたい事、伝えたい事、備えの大切さ、見過ごしてしまいそうな事を
親子ほど年代の違う私たちが、まとめてお伝えします。お役に立てれば幸いです。

＜お問い合わせ先＞
沖野かわら版編集室（沖野市民センター内）〒984-0831
仙台市若林区沖野 7-34-43
TEL：022-282-4571 FAX：022-285-4681
e-mail：okino-siminc@hm-sendai.jp

沖野かわら版

第九号

平成29年3月11日発行

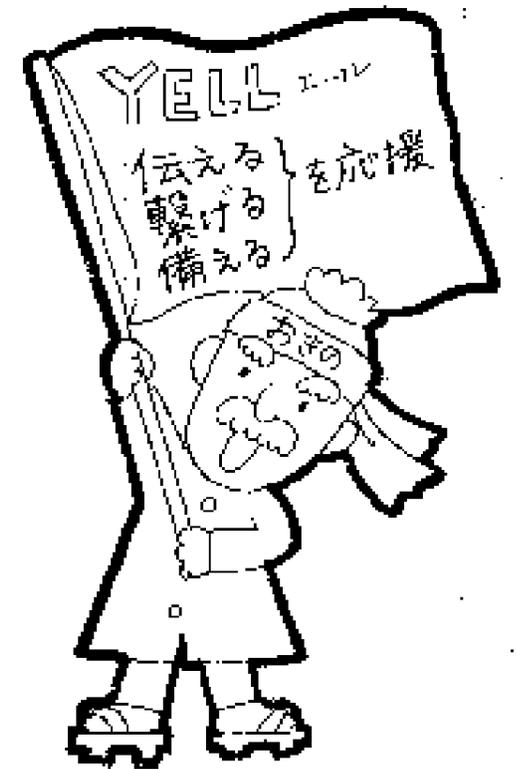
東日本大震災から6年、沖野かわら版は4年前の
平成25年に創刊し、今回で9号を迎えます。

私達OKB5は、微力ではありますが地域防災強
化を目的に年2回のかわら版発行、地域に向けての
防災・減災学習会の開催、沖じいの防災紙芝居の作
成を行って参りました。

前回の8号は好評をいただき、ご要望により全戸
配布をした町内会もあり、制作した私達の喜びと励
みにもなりました。

今回は震災の経験と教訓を、過去(3・11)→現在
→未来へ「伝える」「繋げる」「備える」を応援した
いとの想いを込めて取り組みました。

エール(YELL=応援する)を合言葉に、これも
またもう一つのテーマである、知って得する・役に
立つ情報も満載にしました。最終号となる10号に向
けて更に頑張ります。



生命を守る三か条

①無駄と思ふなけれ

「避難準備情報」を「避難開始情報」に読み替えて勇気を持って避難せよ!!

②安心安全に一日過ごせる居場所の確保

指定避難所が全ての人に配慮されている場所とは限らない
より安全に過ごせる福祉避難所等の居場所を確保しよう

③1人の力よりお互いさまの心

1人でできることは限られている
お互いに声を掛け合い地域の人と共に避難しよう
地域の要配慮者と一緒に避難する体制をつくろう

防災に関するアンケート

あの想定外の東日本大震災から6年。
その当時の子供達、そして防災のこれからを考慮し
アンケートにご協力いただきました。

過去 (3.11)



○あなたは何歳でしたか？

小1 1人 小2 5人 小4 1人
高2 1人 社会人(23歳) 2人

○何をしていましたか？

プランコであそんでいた 国語のテスト 帰りの準備
帰りの会・下校 仙台駅前 仕事

○困ったことはなんですか？

トイレが臭かった 帰宅できず避難所のトイレ前で寝て臭かった
帰宅できなかった 食料がなかった 寒かった
夜ごはん(食事)に困った 電話がつながらなかった
地面にひびが入り、ランドセルがしばらく取れなかった
バスも何もなく、公園に避難し、歩いて帰ってきた

○どんな訓練をしたことがありますか？学校でも行っていますか？

避難訓練 災害の関連の訓練 八軒地区総合防災訓練 引き渡し訓練
学校の避難訓練(地震が起きて火災が発生した想定)
→机の下にもぐり口を押え、低姿勢で歩き外に出る

現在



○あなたが今知っている防災に関する知識

頭を守る 窓から離れる 高い建物から離れる 避難場所
ラップ、バンドナの活用(骨折、傷の手当て、腕を吊る、出血を抑える)

○今後の災害時に自分が役立てることはなんだと思いますか？

避難場所への誘導 手伝えることを手伝う(配給)
風化させない 整理整頓(減災につながる) 避難所開設の手伝い
片付け 近所のおばあさんの家に声をかける(生存確認)

未来

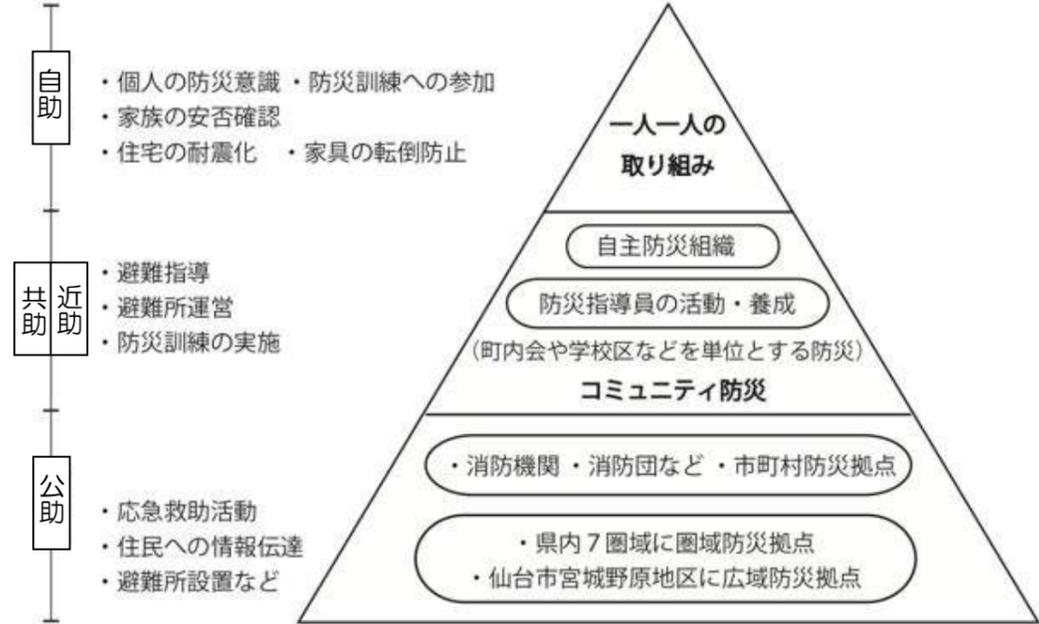


○その他思ったこと

災害時の時に中学生を使ったらいいと思う
知識はあっても自分が逃げるのに必死
いざという時足がすくんでうごけないと思う
電話で伝言を残す。外出していれば、それを親に伝えたい
※身内が亡くなったため思い出したくない

ご協力ありがとうございました。

災害に楽しく安心して暮らせるまちづくりを目指して



河北新報 平成26年12月4日付 宮城県政策紹介シリーズ② 記事参考

災害時に便利なもの

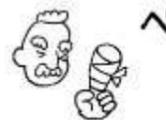


ラップで耳栓

ラップを10cmくらい準備して
4~5cmの部分を一度結ぶ

結び目の約2cmの部分をもう一度結び根元を切る

上の余った部分を広げて上の結び目をかぶせる
かぶせた側を耳の中に入れる



ペットボトルで傷洗い

ペットボトルのふたに
3ヶ所くらい穴を開ける

ペットボトルを
押しよがら
使う

傷口の洗浄のほか
水の節約に役立つ

※穴の開いていないふたは持ちにくく

針金ハンガーでフライパン

針金ハンガーを
引っ張ってフライパンの
ような形に丸く整える

調理するときの持ち手に
なるようにフックの部分を
折り曲げる

重たいものでものせられる
ようにアルミホイルを
何重にも巻く

針金に熱が
伝わるので軍手や
布を使って持つ



リナ缶 キャンドル

ティッシュで作った
こおり(あるいは2糸)を
穴の奥まで差し込む

こおり(または糸)に
油が染み込むまで
しばらく待ち。
先端に火をつける

※1缶で2時間くらい燃焼可能
使った後はもちろん食べられる

牛乳パックで 作るスポン

牛乳パックの上の
部分を切り取る

1000mlパックなら
半分に切る
500mlならそのままの
高さで縦半分に切る

半分に切ったパックを
さらに縦半分に切る
これで4本のスポンが
できる

持ちやすいように 柄に
なる部分を斜めに
切り落としてできあがり